

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 01-319896

(43)Date of publication of application : 26.12.1989

(51)Int.Cl. G07G 1/12
G06F 15/21
G06F 15/28

(21)Application number : 63-152667

(71)Applicant : SHARP CORP

(22)Date of filing : 21.06.1988

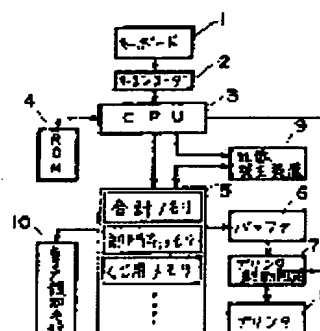
(72)Inventor : SUMIO AKIYOSHI

(54) ELECTRONIC CASH REGISTER WITH LOT FUNCTION

(57)Abstract:

PURPOSE: To simultaneously execute registering work and lot by one person by executing the lot in parallel with the registering work in the title electronic cash register.

CONSTITUTION: When current processing is judged to be processing with the lot, a random number is generated by a random number generating means 9. This random number is successively compared with a hit number held in a memory for the lot in a memory 5, and when the hit number identical with the random number exists, a message corresponding to a grade to which the hit number belongs is read to a buffer 6. When the hit number identical with the random number never exists, another message corresponding to the lowest grade out of previously set grades is read to the buffer 6. Further, contents in the buffer 6 are printed on a receipt together with transaction information and an operation result. Thus, the lot can be easily executed without a trouble and a hand.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平1-319896

⑬ Int. Cl.⁴

G 07 G 1/12
G 06 F 15/21
15/28

識別記号

3 2 1

庁内整理番号

Z-8610-3E
Z-7230-5B
Z-7230-5B

⑭ 公開 平成1年(1989)12月26日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 くじ機能付電子式キャッシュレジスタ

⑯ 特 願 昭63-152667

⑰ 出 願 昭63(1988)6月21日

⑱ 発 明 者 角 尾 明 美 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シャープ株式会社
内

⑲ 出 願 人 シャープ株式会社 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

⑳ 代 理 人 弁理士 杉山 毅 至 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

くじ機能付電子式キャッシュレジスタ

2. 特許請求の範囲

1. 任意の数の等級と該当該級における当たり本数
と前記各等級に対応する任意の数字で構成した
当たり本数分の当たり番号と前記各等級に対応
するメッセージからなるくじ情報をを入力する
入力手段と、

前記くじ情報を記憶するくじ情報記憶手段と、
登録モード設定時に通常処理かくじ付処理かを
選択する選択手段と、

各種取引情報の登録終了時における合計キー
操作に応答して前記通常処理かくじ付処理かを
判別する判別手段と、

前記判別手段においてくじ付処理と判断され
た場合乱数を発生する乱数発生手段と、

発生した乱数を前記くじ情報記憶手段に保持
している当たり番号と順次比較する比較手段と、

前記比較手段において前記乱数と同一の当た

り番号があれば該当たり番号の属する等級に対
応するメッセージを前記くじ情報記憶手段から
読み出す手段と、

前記比較手段において前記乱数と同一の当た
り番号がなければ最低等級に対応するメッセ
ージを前記くじ情報記憶手段から読み出す手段と、

前記メッセージを各種取引情報及び演算結果
と共にレシートに印字する印字制御手段

とを備えてなるくじ機能付電子式キャッシュ
レジスタ。

3. 発明の詳細な説明

<産業上の利用分野>

本発明はくじ機能を有する電子式キャッシュ
レジスタに関するものである。

<従来技術>

スーパーマーケット等において顧客へのサービ
スとして買い上げのあった客にくじを引かせて、
引いたくじの等級に対応する景品などを与えるく
じ引き抽選が行われることがある。この場合、く
じ引きの方法としては抽選箱からくじ又は色のつ

いた玉等を客に引かせる方法がよく採用されている。

<従来技術における問題点>

従来、各商品の買い上げ時にレジ業務と共に顧客へのサービス提供としてくじ引きを行なわせる場合、レジ業務とくじ引き抽選を兼任すると業務が煩雑となり、くじ引き抽選の専任者を置く必要があった。また、くじ引きのための道具や場所を用意しなければならない等、人的経済的な面でサービス提供に問題があった。

<問題点を解決するための手段>

本発明は上述した問題に鑑み、

任意の数の等級と該当級における当たり本数と前記各等級に対応する任意の数字で構成した当たり本数分の当たり番号と前記各等級に対応するメッセージからなるくじ情報を入力する入力手段と、

前記くじ情報を記憶するくじ情報記憶手段と、登録モード設定時に通常処理かくじ付処理かを選択する選択手段と、

各種取引情報の登録終了時における合計キー操

する。

<実施例>

以下本発明の一実施例を図面を参照しながら詳細に説明する。

第1図は本発明によるくじ引き機能のついた電子式キャッシュレジスタの構成を表すブロック図である。

電子式キャッシュレジスタはCPU3を含んでおり、キーボード1からキーエンコーダ2を介してCPU3に入力を行なう。又、CPU3にはレジ業務を行うためのプログラムなどが記憶されるリードオンリメモリ4とランダムアクセスメモリなどで実現される複数のメモリ5が接続され、このメモリ5には各種取引登録の際の合計金額情報を保持する合計メモリや取引商品を予め設定された部門別に保持する部門別メモリと、本願発明の特徴であるくじ情報を保持するくじ用メモリ等が含まれる。

更にくじ付処理の際に乱数を発生させる乱数発生装置9およびプリンタ駆動回路7はCPU3に

作に応答して前記通常処理かくじ付処理かを判別する判別手段と、

前記判別手段においてくじ付処理と判断された場合乱数を発生する乱数発生手段と、

発生した乱数を前記くじ情報記憶手段に保持している当たり番号と順次比較する比較手段と、

前記比較手段において前記乱数と同一の当たり番号があれば該当たり番号の属する等級に対応するメッセージを前記くじ情報記憶手段から読み出す手段と、

前記比較手段において前記乱数と同一の当たり番号がなければ最低等級に対応するメッセージを前記くじ情報記憶手段から読み出す手段と、

前記メッセージを各種取引情報及び演算結果と共にレシートに印字する印字制御手段とを備えてなるものである。

<作用>

本発明によれば電子式キャッシュレジスタで取引登録処理と平行してくじ引き抽選を行うことができ、抽選結果を取引情報と共にレシートに印字

によって制御される。レシート印字に際しては印字バッファ6の内容がプリンタ駆動回路7に供給され、プリンタ8でレシートに印字を行う。又、メモリ5には音声報知手段10が接続され、メモリ5に含まれる図示していない音声メモリの内容が音声報知手段10を通して報知される。

次に第2図は取引登録処理における電子式キャッシュレジスタの動作を説明するためのフローチャートである。

まず、取引が発生すると、ステップn1で登録設定モードに切り換え、この時あわせて電子式キャッシュレジスタのキーボード上の指示キーにより通常処理かくじ付処理かを選択する。ステップn2、n3、n4で取引商品の部門、単価、個数などを入力し、ステップn5において登録が終了すれば、ステップn6に進み合計キーを操作し、ステップn7で取引情報の演算を行う。更にステップn8で通常処理かくじ付処理かを判断し、くじ付処理であればステップn9で後述する乱数処理を行い、ステップn10でレシートに取引情報、

演算結果及びくじのメッセージを印字する。またステップ n 8 で通常処理と判断されればステップ n 11 で取引情報及び演算結果をレシートに印字する。

ここでくじ付処理の際の乱数処理及びレシート印字の動作を第 1 図及び第 2 図を参照しながら更に詳しく説明する。

まず第 2 図のステップ n 8 でくじ付処理と判断されると乱数発生手段 9 で乱数を発生させる。ここでは 3 桁のデジタル方式の乱数発生装置を採用する。発生した乱数をメモリ 5 のくじ情報メモリに保持している当たり番号と順次比較を行ない、同一の当たり番号があればその当たり番号が属する等級に対応したメッセージを前記くじ情報メモリからバッファ 6 に読み出す。乱数と同一の当たり番号がなければ予め設定した等級のうちの最低等級に対応するメッセージを前記くじ情報メモリからバッファ 6 に読み出す。そしてステップ n 10 で取引情報、演算結果と共にバッファ 6 にある内容をレシートに印字する。

しまった場合はその等級の 1 つ下の等級に対応させる処理を付加させても良い。

<発明の効果>

本発明によれば電子式キャッシュレジスタでレジ業務と平行してくじ抽選を行なうことができるため、抽選のための道具を用意する必要がなく、通常の登録処理動作と同じ操作でくじ抽選が行なえるので 1 人の人がレジ業務と兼任することができる。従って手間や人手がかからずに容易にくじ抽選が行えるという効果を奏するものである。

4. 図面の簡単な説明

第 1 図はくじ機能のついた電子式キャッシュレジスタの構成を表すブロック図、第 2 図は電子式キャッシュレジスタの取引登録動作を説明するためのフローチャート、第 3 図はくじ付登録処理の際のレシート印字例、第 4 図はくじ情報入力操作を説明するためのフローチャートである。

1. キーボード 2. キーエンコーダ 3. CPU
4. ROM 5. メモリ 6. 印字用バッファ 7. プリ
ンタ駆動回路 8. プリンタ 9. 乱数発生手段

特開平 1-319896 (3)

第 3 図(a)(b)はくじ付登録処理を選択した際のレシート印字例である。レシートには各種取引情報及び演算結果と共に等級に対応しているメッセージが印字される。

次に第 4 図はくじ情報の入力操作を説明するためのフローチャートである。

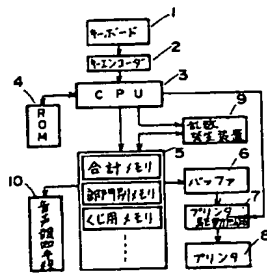
ステップ n 12 でくじ情報設定モードを選択し、ステップ n 12、ステップ n 13 で等級と該等級の当たり本数を入力する。尚、ステップ n 13 の当たり本数入力において数値以外のキー、例えば \square キーが入力されると最低等級を意味する。ステップ n 14 で当たり番号 (3 桁の任意の数字) を入力する。最低等級の場合は \square キーを 3 回入力する。ステップ n 16 において 1 つの等級に当たり番号を複数設定する場合はステップ n 17 に進み、当たり番号を入力する。

低い等級になるにつれ、当たる確率を大きくするには上位等級から下位等級に向けて当たり本数を除々に増やしていけば良い。取引件数が増加し等級に設定した当たり本数を越えて当たりが出て

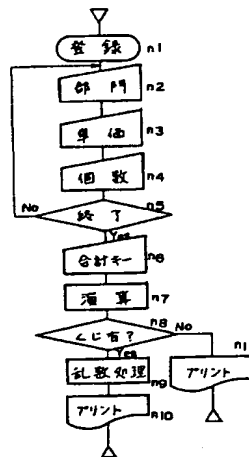
10. 音声報知手段

代理人 杉 山 毅 至 (他 1 名)

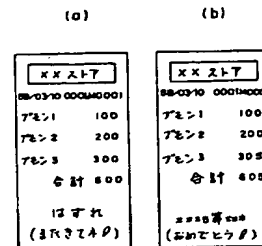
特開平1-319896(4)



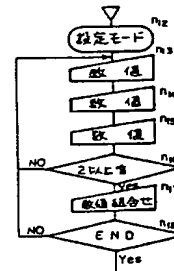
第 1 章



第 2 回



第 3 回



第 4 回